

今の勉強での苦しみは一瞬で終わるが、 勉強しなかった苦しみは一生続く

今年も残すところわずかとなり、もうすぐ新年を迎えます。3年生はラストスパート！志望校合格にむけて勉強あるのみです。2年生は来年いよいよ受験生です。受験に向けた準備を本格的に始めないといけない時期となりました。1年生は新年を迎える前に、もう一度これまでの学習習慣について振り返ってもらいたいところです。

さて、今回は就職試験や推薦入試の結果もふまえて書きたいと思います（東山学院看護受験ゼミの方や元河合塾の方のお話も引用しています）。

1・2年生へ 基礎的な学力を付けるのは今！

進学はもちろんですが、就職試験においても筆記試験で不合格となる例がありました（しかし、3年生はそこから奮起して、苦勞を重ねながらも年内に全員就職先が決まりました）。

今日、就職試験（大学入試センター試験と比べて一般的には易しいとされる）は、非常に厳しく、確実に実力を蓄える必要があります。

以上からもわかるように、現在は未定でも学力さえあれば、様々な進路選択が可能になるということです。

1・2年生のみなさん！予習・復習、小テストの勉強といった日々の授業・学習を大切にしていますか？冬休みですから課題が出されます。まず、しっかりと取り組みましょう。課題内容は2学期の復習であったりするわけです。また、休み明けには課題考査があります。課題考査が終われば、解き直しをしましょう。どのようなテストでもやりっ放しはダメです。こういったことで基礎学力も定着します。

今見たように、何度も何度も繰り返すことで、はじめて知識は定着するのです。人間は忘れる動物です。また忘れるからこそ、思い出すこともできますとも言えます。だから、先送りするのではなく、今ここで取り組むことが大切なのです。なんとかなると思いませんか？1年後、2年後苦しむのは自分なのです。

例えば、受験勉強とは、数学I・Aを見てもわかるように、高校1年生から学んだことの復習です。今のうちから少しずつ知識を積み重ね、弱点を補強しておくこと、受験勉強をスムーズにスタートさせることができるでしょう。3年生になってから1から勉強することになると大変です。

① 2年生は受験生としての心構えを

- ・1年後の今ごろには、大学入試センター試験を受験します。

② 2年生の入試は厳しい ～受験人口・教育課程～

- ・浪人が例年より増える（今年の3年生は昨年よりも40000人受験人口増のため）。
- ・旧教育課程最後の学年なので浪人すると、新課程の学年と受験することになり、とまどうことがあるかもしれません。現役合格を目指しましょう。

③ 看護志望者は年々増加し、入試は激化するばかり。

覚悟を決めて、今から勉強しよう！

看護専門学校・大学だけは推薦入試から勝負と言われます。超人気学問系統で、女子生徒からの一番人気。受験校数・受験回数が多く必要になってきます。

日本の経済状況もあって、今年も看護系入試は本当に激戦であり、現3年生も非常に苦戦しています。

リーマンショック以降の変化 ～看護の現場は高校生を求めているにもかかわらず～

- ・看護系専門学校における社会人受験生の激増に伴う競争率の上昇
- ・社会人は国語が強く、英語・数学が弱い。

しかし、生活がかかっているため、急激に学力を向上させる。

※この近隣の専門学校の方に直接聞いたところ、入試の成績順に並べたら、社会人が上位にきてしまうとのことでした。

高校生はもっともっと勉強しないといけないということです

- ・大卒の看護専門学校受験生もいる。
- ・2011年以降、一般入試は社会人入試に漏れた社会人が一般入試に流出したため、高校生が苦戦、看護浪人が増加した。

※社会人は学費が安く、1年でも修学期間の短い専門学校を志望する。

高校生なら大学（中堅・下位校では）の方が合格しやすい傾向。

※先日この近隣の看護専門学校の戴帽式に参列しましたが、社会人2（若い人ばかりではありませんでした）：高校生1くらいの割合でした。

入試における面接の重要度

- ・続けられる人物を選ぶ…志望動機（心がこもったものか）・欠席日数

※欠席日数に厳しい専門学校もあり（3年間9日で不合格）

入試における生物の必要性 ～浪人を防ぐことができるかも～

大学なら当然必要だが、専門学校でも必要（看護を学ぶ上で、入学してから必要）。国英数理4教科勉強することで受験機会が増える。

→中堅以下の専門学校が該当（浪人を防ぐ？）

大学入試でも、教科・科目数が多ければ多いほど、受験機会は広がります

1～3年生へ

④大学選びのポイントの一つは就職

- ・大学選びで就職活動が決まる（就職活動の開始時期が遅くなったことも影響）
- ・就職を決める力は、高い学力！
- ・安易な入試方法で大学を選ぶと、最終的には就職活動で勝てない

⑤私立大学一般入試まで約40日（センター入試まで29日）

～現役生は今からでも十分伸びる～

- ・必死で頑張れば、追いつける今の大学受験→ゆとり教育で大学入試が簡単になっている
- ・近畿大・甲南大も一般受験で合格するためには、12月中にセンターレベルで3教科とも半分以上常に得点できるようにすること
- ・関西大・関西学院大の場合は、3教科でセンターレベルのマークで常に6割以上を安定的にとれるようにしておくこと
- ・近年、推薦よりも一般で入学させたいという大学側の意向から、一般枠が増え、かつての難関大も偏差値を下げている。
- ・特に関西大！（産近甲龍では推薦入試がほとんどない甲南大もそれに該当します）
- ・偏差値よりも大学の入試問題の相性も関係してくる
- ・かつての関関同立にあらず（かつての産近甲龍にあらず）

3月入試まで粘ることの重要性 ～社会人の入学辞退～

この近隣の専門学校の方に直接聞いたところ、社会人の中には、授業料を納めることができずに入学辞退する者がかなり存在するとのことでした。ですから「**3月入試までチャレンジすることが大切です**」とのことでした。

また、枚方にある専門学校の方に直接聞いたところ、2月に入学辞退者がたくさん出て、3月入試で定員10名のところ、15名もプラスして計25名合格者を出したとのことでした。人気の看護系専門学校ですが、こういった現実も存在するのです。

看護専門学校の選び方

- ・学費以外に必要な費用は？（教科書代などもきちんと聞いておくこと）
- ・実習病院は？（なかなか言ってくれないらしいが、遠方はしんどい）
- ・実際の国家試験合格率と進級率の関係（入学者に対する合格率ではない）

看護医療系学生の留年と退学

せっかく合格した看護専門学校にもかかわらず、留年・退学は存在するのです。

- ・タイプ1 指定校推薦などで努力せず容易に合格した者
- ・タイプ2 親が医療関係に従事している者
- ・タイプ3 計画性の無い学費納入（後期授業料などが納入ができない）
- ・タイプ4 要領の良すぎる看護学生（努力型が好まれる現場）
- ・タイプ5 仕事や資格よりも大学のブランドにこだわる者

※以上は東山学院のレジュメの表現のまま。